

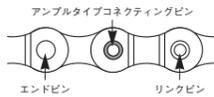
安全のために必ずお守りください。

警告

- チェーンの洗浄には中性の洗浄液を使用してください。サビ落とし等のアルカリ性あるいは酸性の洗浄液を使用するとチェーンにダメージを与え、チェーン切れを起こす場合があります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと充分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンブルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8, 7, 6段対応 ナローチェーン	ブラック	TL-CN32 / TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所を切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所を切るとチェーンを損傷します。
- 乗車時に衣服のすそがチェーンに巻き込まれないように注意してください。転倒することがあります。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷がある場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- 乗車前にクランクに亀裂が無いかどうか確認してください。クランクが折れて転倒することがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。



使用上の注意

- UGチェーンにはアンブルタイプ・コネクティングピンは使用になれません。連結部の動きが悪く、又さし込み音が発生します。
- FD-TZ31/TZ30/TZ21/TZ20はフリクション対応ですのでSL-RS35-Lとの組合せでは使用できません。
- ボトムブラケットを組みつける際には、ボトムブラケットのネジ山及びアダプターのネジ山と内側にグリスを塗布してください。
- 乗車時のペダリングに異常を感じた時は再度点検をお願いします。
- 乗車前には締結部にガタ及び緩みの無い事を確認してください。また定期的にクランクやペダルの増し締めを行ってください。
- ボトムブラケット周辺の高圧洗車は行わないでください。
- ボトムブラケットの軸にガタが感じられるようになったら交換してください。
- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。
- チェーンは、より良い機能が発揮されるために指定チェーンを使用してください。
- ワイドタイプチェーンは使用できません。
- 通常の使用において自然に生じた摩擦および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6NGFA-004

フロントドライブシステム



機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	Tourney (SIS)		Tourney (フリクション)		
	右	7段	6段	7段	6段
スピード	左	3段	3段	3段	3段
シフティングレバー	左	SL-RS35-L	SL-RS35-L	SL-RS35-LN	SL-RS35-LN
アウターケーブル	SIS				
フロントディレイラー	FD-C051/FD-C050/FD-TY10/ FD-C102/FD-C101-E/FD-TX51/FD-TX50		FD-C051/FD-C050/FD-TZ31/FD-TZ21/ FD-TZ30/FD-TX51/FD-TX50		
フロントチェーンホイール	FC-M151		FC-M151		
ボトムブラケット	BB-UN26		BB-UN26		
チェーン	CN-UG51		CN-UG51		
B.B.ガイド	SM-SP18/SM-BT18		SM-SP18/SM-BT18		

この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。



* 取扱説明書は下記にてご覧いただけます。

<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ

堺市堺区松島町3丁7番地 〒590-8577

仕様

シフティングレバー

モデルナンバー	SL-RS35-L	SL-RS35-LN
スピード	SIS 3段	フリクション



フロントディレイラー

モデルナンバー	FD-C102	FD-C101-E FD-TX51 FD-TX50	FD-C051 FD-C050	FD-TY10	FD-TZ31 FD-TZ30	FD-TZ21 FD-TZ20
取付バンド径 (ノーマルタイプ)	S, M, L	S, M, L	S, M, L	S, M	S, M	S, M
取付バンド径 (トップルートタイプ)	S, M, L	S, M, L	S, M, L	S, M	S, M	S, M
チェーンステイ角度(α)	66°- 69°	63°- 66° 66°- 69°	63°- 66° 66°- 69°	66°- 69°	66°- 69°	66°- 69°

フロントチェーンホイール

モデルナンバー	FC-M151	FC-M151
ギア歯数構成	48T-38T-28T	42T-34T-24T
クランク長さ	170 mm	170 mm
ペダル取付ネジ寸法	BC 9/16" × 20山 (英ネジ)	BC 9/16" × 20山 (英ネジ)
ワンネジ寸法	BC 1.37 × 24山 (68.73 mm)	BC 1.37 × 24山 (68.73 mm)
対応フロントディレイラー	FD-C102 / C051 / TZ31 / TZ21 / TX51	FD-C101-E / C050 / TY10 / TZ30 / TZ20 / TX50

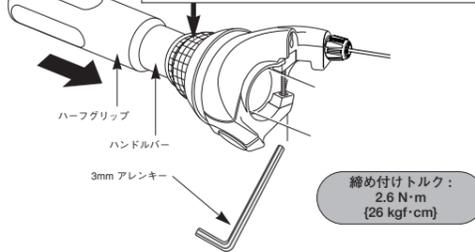
ボトムブラケット

タイプ	チェーンライン	軸長	シェル幅	軸刻印	ネジ寸法
トリプル	47.5 mm	122.5 mm	68 mm	D-NL	BC 1.37 × 24山

シフティングレバーの取付け

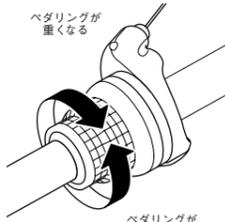
ブレーキ操作に支障をきたさない位置に取付けてください。ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合せ使用しないでください。

レボシフトレバーとハーフグリップの間に、0.5mmのすき間をあげます。



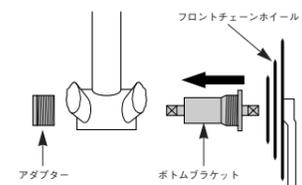
締め付けトルク：
2.6 N・m
(26 kgf・cm)

変速操作方法



ボトムブラケットの取付け

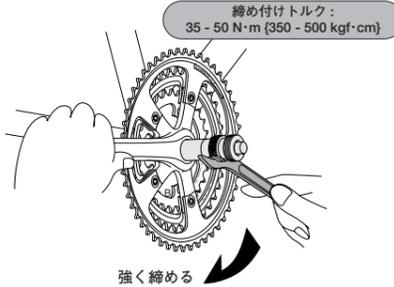
専用工具TL-UN74-Sを使用して取付けます。まず本体を取付け、次にアダプターを取付けます。



アダプター/ボトムブラケット締め付けトルク：
50~70 N・m (500~700 kgf・cm)
フロントチェーンホイール締め付けトルク：
35~50 N・m (350~500 kgf・cm)

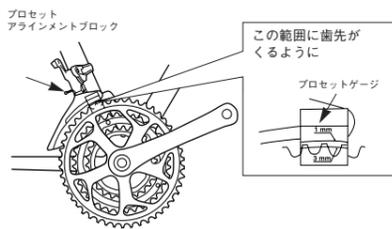
フロントチェーンホイールの取付け

コッタレスクランク専用工具 (TL-FC10) を使用して、フロントチェーンホイールを取付けます。



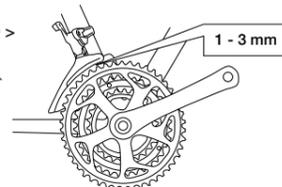
フロントディレイラーの取付け

1. < FD-C102 / C051 / C050 / TY10 / TX51 / TX50 >
図のように調整し、フロントディレイラーを取付けてください。このときプロセットアライメントブロックをはずさないでください。



< FD-TZ31 / TZ30 / TZ21 / TZ20 >

フロントチェーンホイール大ギアと、チェーンガイド下部の最狭部が1-3 mmにセットしてください。



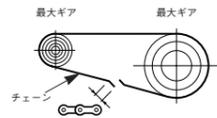
- チェーンガイド外プレートの平らな部分が大ギアの真上の位置で大ギアと平行。
- TY10、TZ31、TZ30、TZ21、TZ20は9mmスパナ、C102、C051、C050、TX51、TX50は5mmアレンキーを使用して固定します。

締め付けトルク：
5 - 7 N・m (50 - 70 kgf・cm)

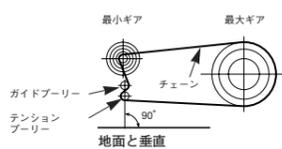
チェーンの長さ

< GS >

フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



< SS >



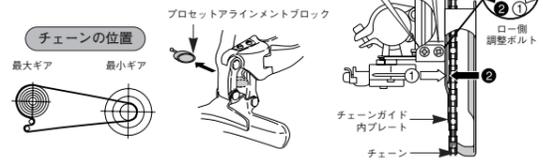
調整

必ず次の順序で行ってください。

1. ロー側の調整

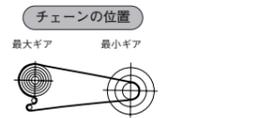
< FD-C102 / C101-E / C051 / C050 / TY10 / TX51 / TX50 >

まずプロセットアライメントブロックをはずしてください。次にチェーンガイド内プレートとチェーンの隙間を0~0.5mmにセットしてください。



< FD-TZ31 / TZ30 / TZ21 / TZ20 >

チェーンガイド内プレートとチェーンの隙間を0~0.5mmにセットしてください。



2. インナーケーブルの取付けと固定

インナーケーブルを強く引っ張りながら固定ボルトをTY10、TZ31、TZ30、TZ21、TZ20は9mmスパナ、C102、C051、C050は5mmアレンキーで締め固定してください。

締め付けトルク：5 - 7 N・m (50 - 70 kgf・cm)

インナーケーブルの通し方向

アウターケーブルの刻印側からインナーケーブルを通してください。ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



アウターケーブルの切断

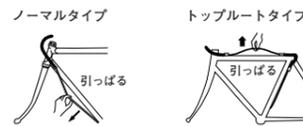
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。

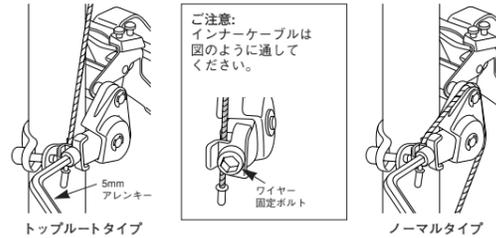
3. ケーブルの張り調整

図のようにケーブルの初期の伸びをとった後、再びフロントディレイラーに固定しなおします。



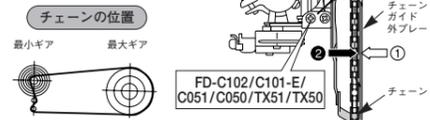
不要なケーブルを切断し、エンドキャップを取り付けてください。

< FD-C051 / C050 / TX51 / TX50 >



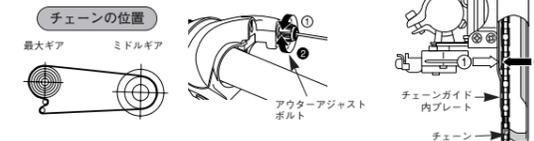
4. トップ側の調整

チェーンガイド外プレートとチェーンの隙間を0~0.5mmにセットしてください。



5. ミドルギアの調整

チェーンをリアスプロケットの最大ギアにセットし、フロントは最大ギアから中間ギアに変速させて調整します。チェーンガイド内プレートとチェーンの隙間が0~0.5mmになるようにアウターアジャストボルトで調整してください。



6. 変速の確認及び微調整

1~5を終えた後、シフティングレバーを操作して変速の確認をします。(使用しているうちに変速しにくくなった場合も同様です。)

クランク側へチェーンが落ちてしまうとき	トップ側調整ボルトを時計方向に1/4回転ほど締める
中間ギアから大ギアに変速しにくいとき	トップ側調整ボルトを反時計方向に1/8回転ほどどす
中間ギアから小ギアに変速しにくいとき	ロー側調整ボルトを反時計方向に1/4回転ほどどす
チェーンがフロントチェーンホイールの最大ギアの位置でフロントディレイラーのインナープレートとチェーンが干渉するとき	トップ側調整ボルトを時計方向に1/8回転ほど締める
チェーンがフロントチェーンホイールの最大ギアの位置でフロントディレイラーのアウタープレートとチェーンが干渉するとき	トップ側調整ボルトを反時計方向に1/8回転ほどどす
大ギアから変速して中間ギアを飛び越えてしまうとき	アウターアジャストボルトを反時計方向に1~2回転ほどどす
中間ギア位置でリアを最大ギアにした場合、チェーンがフロントディレイラーインナープレートと干渉する場合	アウターアジャストボルトを時計方向に1~2回転締める
最大ギアから中間ギアに変速しにくいとき	
ボトムブラケット側へチェーンが落ちてしまうとき	ロー側調整ボルトを時計方向に1/2回転ほど締める

* SL-RS35-L

インナーケーブルの交換方法

- シフターを操作してギアをローの位置に合わせます。ドライバなどでAの部分を押してカバーを外します。
- 図のように①~③の手順でインナーケーブルを交換して下さい。

